いろいろな家庭内の暴力・暴言

子どもがいる家庭内で行われる、大人と大人の暴力・暴言にはいろいろな形があります。

○夫婦間の一方的な身体的な暴力

○夫婦間の精神的な暴力（どなる、おどす）

○元夫婦間でお互いに手が出る

○恋人とのケンカ　　　　　　　　　など

ＤＶとは…？

ＤＶとは、夫婦、恋人、婚約者、元夫婦、元恋人等の親密な関係で振るわれる暴力のことを言います。

○身体的な暴力（殴る蹴る、首をしめる）

○精神的な暴力（どなる、おどす、バカにする）

○経済的な暴力（生活費を渡さない）

○社会的な暴力（外部との付き合いを制限する）

○性的な暴力（望まないSEXを強要する

／避妊に協力しない）

その時、子どもの様子は…？

○泣いている

○暴力を止めようとする

○だまってその様子を見ている　　　など

〇ケンカの声や音を聞くことは、見ていなくても子どもに重大な影響を与えます！！

〇子どもが小さい赤ちゃんだとしても、家庭内のケンカに巻き込まれ、ケガをする場合があります。

〇小学校低学年では落ち着きがない、高学年では気持ちを抑えがち、中学校では学校に適応しにくい

など、年齢によってあらわれ方は異なります。

家庭内の暴力・暴言を見聞きする

ことは子どもにとって

「 心理的虐待 」 になります！

暴力・暴言を見聞きすることは

　　　　　子どもに重大な影響を与えます

こころへの影響

□　ケンカしている場面を急に思い出す

□　自分のせいでケンカをしていると思う

□　自分を無力だと思い自信が持てない

□ イライラしやすい

□ 困っていることを家で話せない

子どもへの影響

行動への影響

□　赤ちゃん返りする

□　暴力はしても良いものだと思い、

園や学校で暴力的なことをする

□　学校に適応しにくくなる







からだへの影響

□　よく眠れずに、朝起きられない

□　集中力がない、落ち着きがない

□　ボーッとしている

□ 頭痛や腹痛など身体の不調を訴える

□ 脳の成長に深刻な影響がでる



大人が、できることは…？

○ケンカになりそうな話は、

子どもがいない時間と場所でする。

○お酒を飲んでいる時は、感情的になり

やすいので、暴力・暴言につながら

ないように、特に気をつける。

○イライラした時は、その場から離れる。

例えば… 一旦どちらかが家を出て

気分転換をして家に戻る。

　○親族や友人、支援機関などの第三者に

相談をする。　　　　　　　　など

➡暴力・暴言を避ける方法を、大人が

話し合って事前に決めておきましょう。



子どもを守るために…

家庭内の暴力・暴言を見聞き

することは、子どもに

重大な影響があることを知り、

安心できる環境を作ることが

最優先です！

**見せんといて**

**暴力・暴言！**

****

****

　　　　　相談窓口

４５２－６８１４（熊取町子育て支援課）

受付：月～金曜　9:00～17:30

（土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く）

児童相談所虐待対応ダイヤル

１８９

（365日24時間対応）

**家庭内の暴力・暴言が与える子どもへの影響**